



ときめきの瞬間



地域への恩返し

12月19日(金)

土岐津中学校の3年生80人が、総合的な学習の時間で、老人保健施設やすらぎを訪問しました。生徒らは、施設内を掃除するなど、自分たちができること地域への貢献活動を行いました。掃除の後、入所者らに合唱を披露。曲に合わせて体を動かしている方や涙を浮かべて聞き入っている方もいました。最後に生徒の代表が、「僕たちは受験勉強を頑張ります。皆さんもお体に気を付けて」とあいさつしました。



素早く「ハイッ！」

1月10日(土)

泉西公民館で「こども百人一首大会」が開催され、泉町の小・中学生29チーム・約140人が参加しました。この行事は、子どもたちへの伝承文化の継承を目的として毎年開催されています。

読み手が札を読み上げると、真剣なまなざしで取り札とにらめっこ。真冬の泉西公民館で、熱い戦いが繰り広げられました。



土岐の土産は、コレ

1月16日(金)

市観光協会推奨品を決める審査会が開催されました。土岐らしい新たな土産を発掘するため、観光協会役員や旅行事業者、市と観光連携協定を結んだ桜花学園大学の学生など合計9人の審査員が、食料品と工芸品合わせて46点を厳しい目で審査しました。

今回認定された商品は、土岐ヶ丘町に今年の春オープンするテラスゲート土岐内の地域連携施設「まちゆい」で販売される予定です。



つなぐ、深める、駄知町の絆

1月18日(日)

新春の駄知町を町民ランナーが駆け抜ける、駄知町一周駅伝大会が開催されました。今年で30回目を迎える大会には、小学生男子、中学生男・女、一般男・女、独走の各部門に計242人が参加。駅伝は、6人がたすきをつなぐ6.3kmのコースで競われ、選手たちは冬らしく澄み切った気持ちのよい空気の中を、勢いよく駆け抜けていきました。



輝かしい未来に向かって

1月11日(日)

成人式典が文化プラザで開催され、新しく大人の仲間入りをした519人が出席しました。式典の進行は新成人の代表12人によるもので、中学校生活を振り返るスライドショーの上映や、中学校時代の恩師へのインタビューなどが企画されました。恩師からは「人は、一人では生きていけない。人と人とのつながりを大切に」「立派な大人になって、土岐市を盛り上げてください」など温かい激励の言葉が贈られました。



Voice

新成人としての喜びをかみしめると共に、今後の責任の重大さを痛感しています。

何げなく日々を過ごすのではなく、社会を担っていくという自覚を持つべきだと思います。今後ご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



成人式実行委員長
金子あかりさん

日本人の心 古典音楽に触れる

1月10日(土)

下石公民館開館20周年を記念して、地唄・箏曲の伝承に努める「国風音楽会」の三品千代子先生を招いた「新春コンサート」が開催されました。

寿会のメンバーが中心となって行われたこのコンサートでは、箏と日舞・お香・お茶とのコラボレーションなども披露され、ホールいっぱいの観客らは「日本のお正月」をたっぷり味わっていました。

